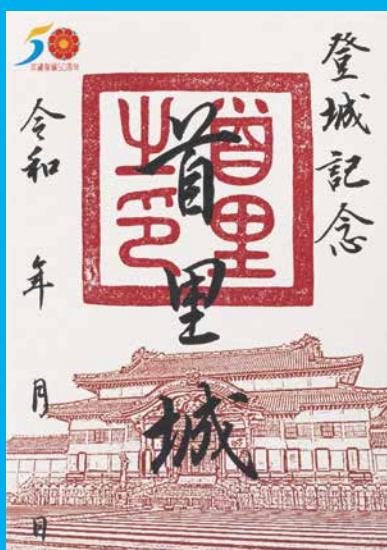


御城だより

2022
8

世界遺産 首里城跡

首里城解説員と巡ろう!
首里城公園ガイドツアー



大好評中
首里城 御城印・御城印帳
琉球銘菓の詰め合せ 宝石箱



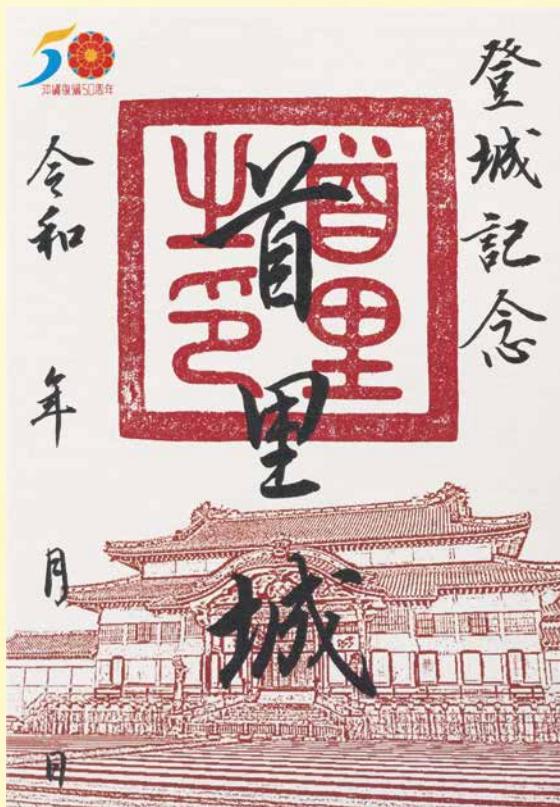
首里城の歴史と文化、復興への想いを込めて！ 本土復帰50周年記念 御城印販売開始！

本土復帰50周年記念

首里城公園では、首里城への登城記念品として、令和4年5月15日よりミュージアムショップ球陽（首里城公園有料区域内）にて「御城印」の販売を始めました。また、首里城オリジナル「御城印帳」も製作販売しています。首里城の歴史と文化そして復興への想いを込めた「御城印」「御城印帳」をご登城の記念にいかがでしょうか。



販売場所 ミュージアムショップ球陽（首里城公園有料区域内）



首里城 御城印 600円(税込)

首里城の歴史と文化が表現された「御城印」

首里城の題字は、書をこよなく愛したことで知られる尚育王（第二尚氏王統第18代国王）の遺墨を参考にしています。

印影は、往時の首里王府の公印『首里之印』を復元したものです。

正殿の図案は、令和の復元で使用される予定の久志間切弁柄（くしまぎりべんがら）の色を線画で表現しています。

台紙は、王国時代から伝わる琉球紙のひとつ「三絃（みつまた）紙」です。首里城下にある手漉琉球紙工房「蕉紙菴」の安慶名清氏により、伝統的な手漉きの技法を使い丁寧に作られています。



安慶名清氏（手漉琉球紙工房「蕉紙菴」）

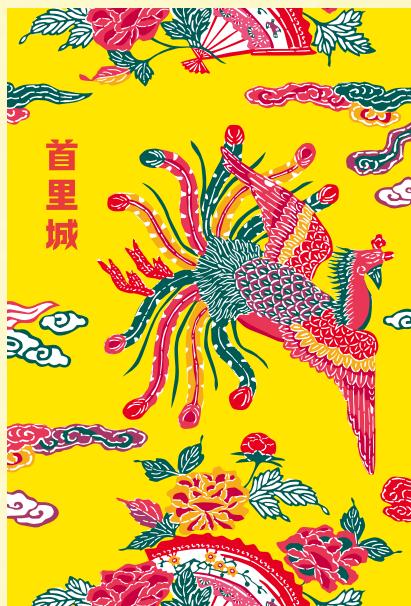
王国時代の紅型文様をデザインした「御城印帳」

御城印帳は、琉球王国時代から伝わる紅型『苧麻白地鳳凰（ちょましろじほうおう）』と扇牡丹文様両面紅型单子供衣裳（おうぎぼたんもんようりょうめんびんがひとえこどもいしょう）（一般財団法人沖縄美ら島財団所蔵）に描かれている「鳳凰」と「牡丹」の文様からデザインされています。

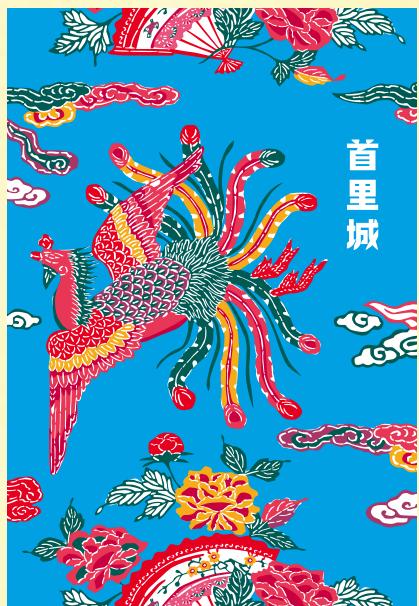
太平の世に現れると信じられていた鳳凰は、龍と共に国王を象徴する靈獸で、王族が身に着ける衣装や身の回りの工芸品にも頻繁に使われ「鳳」と「凰」の一対で描かれます。

牡丹の花は「富貴」の象徴として使われ、華やかな雰囲気を醸し出しています。

一つ一つのモチーフには、琉球王国時代からの想いや願いが込められていると、感じられるのではないでしょうか。



首里城 御城印帳 2,750円(税込) 表面



裏面

本土復帰50周年記念

琉球菓子詰め合わせ宝石箱

首里城公園では令和4年4月29日から、県内の琉球菓子店5社と連携し、9種類のお菓子を詰め合わせした新商品「琉球銘菓詰め合わせ宝石箱」を販売しています。本商品の開発を率いた琉球料理伝承人の平良智史(一般財団法人沖縄美ら島財団)に開発秘話をじっくり聞きました。



販売場所

ミュージアムショップ球陽、
ショップ紅型、ショップ紅型B1、
系図座・用物座
販売価格:5,000円(税込)



琉球料理伝承人 平良智史(一般財団法人 沖縄美ら島財団)

まず、この「琉球銘菓 詰め合わせ宝石箱」が誕生したきっかけを教えてください。

「琉球銘菓 詰め合わせ宝石箱」は、沖縄の伝統的な琉球菓子を県内外にアピールし、琉球菓子店の活気を取り戻す起爆剤に、そして琉球菓子の保存や継承、職人の担い手育成につなげたいという想いを込めた商品です。

琉球菓子について、誕生した背景や歴史を簡単に教えてもらえますか。

琉球王国時代には、中国や日本より様々な製造技術を取り入れながら、包丁(ホーチュー)と呼ばれた料理人によって琉球独自の琉球菓子が誕生しました。他国との交流の際のおもてなし品や献上品とされ、当時は王様や貴族だけに食べられていたお菓子でした。

商品化するまでに苦労した点はありますか？

「琉球銘菓 詰め合わせ宝石箱」を作り上げるうえで大きな壁が2つありました。

1点目は、各琉球菓子店からの承諾でした。

異なる店の商品を1つの箱に詰める前例のない試みだったため、最初の頃は難色を示されることも多かったですが、粘り強く話し合いを続けることで段々と前向きな返事をいただけるようになりました。中には承諾をいただくまでに約3年も費やした琉球菓子店もあります…(笑)。

2点目は、御菓子の賞味期限の問題でした。

消費者がおいしく安全に食べられることが一番です。9種類の琉球菓子の詰め合わせにするのに、異なる賞味期限を統一化すること、かつ賞味期限を延ばす方法がないかずっと頭を悩ませていました。そこで出会ったのが透明バリアフィルム「凸版GL FILM」です。密閉性が高く「吸湿」「乾燥」「腐敗」から琉球菓子を保護することで賞味期限60日越えを実現し、商品化へ向けて大きく前進することができました。

「琉球銘菓 詰め合わせ宝石箱」には普段はあまり目にしない色彩豊かな琉球菓子も入っていますね。お菓子の選定でこだわったところはありますか？

食は五感を使って楽しむものだと考えています。箱を開けた瞬間に感動していただけるように、お菓子の色彩や形状などにもこだわって選定しました。ぜひ職人の手わざの素晴らしさにも注目してみてください。機械では表現できない高い技術のお菓子が詰まっています。



「琉球銘菓 詰め合わせ宝石箱」が完成した際の気持ちは？

嬉しかったとともに、完成までに様々な人の力や職人達の想いが詰まった商品ですから、決して“モノ”として売ってはいけないと大きな責任を感じました。琉球菓子の伝統や背景、次世代への継承も含めて“普及啓発”していくという大きな使命感を抱いています。

販売して約2か月が経ちますが、売れ行きや反響はどうですか？

おかげさまで多くのお客様からご好評いただき、発売から予約注文分で全て埋まってしまい、「長い間このような商品を待っていた」と予想を超える反響があり大変うれしく思っております。

新垣カミ菓子店と知念製菓店では、すでに若手職人の人材育成に取り組む動きが出てきています。本商品が若手職人育成の一助となればこんなに嬉しいことはありません。

「琉球銘菓 詰め合わせ宝石箱」は今後どのような展開を考えていますか？

この商品は、まだこれで完成形ではなく、さらに進化させていきます。また、琉球菓子に関する講座や体験教室の開催にも力を入れていきたいです。

一般社団法人琉球料理保存協会の理事長である安次富順子先生によると、当時の文献に名前が載っている琉球菓子は、なんと約160種類もあるそうです。今後はこれまで埋もれていた琉球菓子の復元、商品化に取り組む望みも持っています。

首里城解説員と巡らう!

首里城公園ガイドツアー



首里城公園のガイドが、琉球王国の歴史や文化、首里城についての解説する首里城60分ぐるっとツアー。世界遺産のご紹介や「首里城60分ぐるっとツアー」でしか入れないところもあります。今回は人気の「歓会門コース」をご紹介します。



START!



首里杜館

レストランやショップ、駐車場がある建物です。
さあ、出発です！



守礼門

2000円札にも描かれた、沖縄観光のシンボル。



園比屋武御嶽石門

世界遺産にも登録されている石造りの門。園比屋武御嶽石門は、1519年に創建されました。国王が外出の際、安全祈願をしたと伝えられます。1945年の沖縄戦で破壊されましたが、一部創建当時の姿を残しています。



歓会門

両側に美しくカーブする石積が特徴的。



瑞泉門

下からの眺めも上からの眺めも楽しめます。

Next Page



6

ろう こく もん
漏刻門

塗り直したばかりの漏刻門。
噂の?!久志間切弁柄も見られます。

首里城正殿の
正面にあった
大龍柱!



7 ぐるっとツアー限定

だいりゅうちゅう ほ しゅうてん じ しつ
大龍柱補修展示室

ぐるっとツアーの参加者は展示室の中から見学できます。
(※天候等で入室できないこともあります。)



8

ほう しん もん
奉神門

奉神門の北側(向かって左側)の屋根は火災によって被災したため、新しく瓦が葺かれています。



9 ぐるっとツアー限定



ふく げん こう じ
復元工事エリア

ぐるっとツアーの参加者は間近で復元が進む様子を見学できます。
(工事の状況等により見学できないこともあります。)

Photo Spot



絶景です!
天候によっては
久高島も
見らごとも!

あがり
東のアザナ

東のアザナは首里城内でも一番高い場所にあります。360°見渡してみて下さい。(※自由見学になります。また天候等で見学できないこともあります。)

7 ぐるっとツアー限定

だいりゅうちゅう ほ しゅうてん じ しつ
大龍柱補修展示室

ぐるっとツアーの参加者は展示室の中から見学できます。
(※天候等で入室できないこともあります。)



Photo Spot



10

けん がく
見学デッキ

見学デッキからは内郭と外郭の城壁や遠く守礼門まで見渡すことができます。この高さから景色が楽しめるのは、見学デッキが設置されている間の期間限定です。

世界遺産見学ポイント
P.6でも解説!

11



かね ぐら あと
金蔵跡

東のアザナへ向かう途中に見える金蔵跡では、世界遺産の石積を見ることができます。



12



13

よ ほこり でん
世誇殿

首里城正殿基壇遺構(しゅりじょうせいでんきだんいこう)を紹介する大型スクリーンやタッチパネルがあります。ひと休みしながら、ご覧下さい。お疲れ様でした。



GOAL!

世界遺産 首里城跡

琉球王国の独自の歴史・文化を伝える「琉球王国のグスク及び関連遺産群」として、首里城跡を含む9つの関連遺産が2000年に世界遺産へ登録されました。首里城跡は、沖縄戦によって首里城が破壊された後にも残っていた首里城正殿基壇遺構や城壁等です。

知られざる首里城の世界遺産をご紹介します。

次の公開は正殿完成後



地下に眠る正殿基壇遺構

15世紀にこの場所に首里城正殿があったことを示す、首里城跡を象徴する大変重要な世界遺産です。琉球王国450年の歴史の中で7回にわたって建て替えられた正殿は、基壇と呼ばれる土台の上に建てられていました。基壇遺構からはその時代の建築様式がうかがえます。

現在、正殿復元工事のため基壇遺構は見ることはできませんが、2026年の正殿完成時には、公開される予定です。



歩ける首里城跡

淑順門(しゅくじゅんもん)から右掖門(うえきもん)に向かう道には、古い石置と新しい石畳の両方があります。ぜひ歩いて、その感触の違いを確かめてみて下さい。首里城で働いてたたたちは何を思いながら、この道を歩いたのでしょうか。

さわれる城壁



久慶門

久慶門外側の城壁

久慶門から出て、上の毛方向に城壁を眺めると、その曲線の美しさや雄大さを感じられるのではないかでしょうか。ここにも古い石積みを見ることができます。手でさわれるところもあるので、琉球石灰岩の感触を味わうことができます。



ココが世界遺産

石の積み方を鑑賞



ココが世界遺産

金蔵付近の石積み

金蔵付近の石積みにも、古い時代のものがあります。多角形に石を加工し、組み合わせた相方積みで組まれた石積みを鑑賞することができます。相方積みは力がかかる方向が分散される、丈夫な石の積み方です。

国王が安全祈願した場所



そのひやんうたきいしもん
園比屋武御嶽石門

園比屋武御嶽石門

「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の1つである園比屋武御嶽石門は、琉球王国時代に国王が外出する際、安全祈願をしたところです。尚真王の時代、1519年に創建されていますが、1945年の沖縄戦で破壊されています。1956年に復元されました。扉以外は石で造られていますが、木造建築のような屋根や垂木のデザインが特徴的です。



首里城の「今」に注目!

復興へのあゆみ 見せる復興

世界遺産 首里城跡 首里城正殿基壇遺構

首里城公園では、令和2年6月より正殿基壇遺構を仮設覆屋内で公開をしてきましたが、2022年11月3日の正殿復元工事着工へ向け、建築工事中に遺構が傷つかないよう埋戻しを施し、5月22日で公開を終了しました。次に遺構が一般に公開されるのは令和8年の正殿完成後となります。しばらくは遺構を直接見ることができなくなりますが、世誇殿内の大型スクリーンやYoutube「正殿地下に眠る世界遺産」でお楽しみください。



首里城正殿基壇遺構



木材倉庫・加工場、原寸場の整備

正殿復元に向けて木材倉庫・加工場、原寸場の整備を行っています。木材倉庫・加工場は復元に用いる木材を保管し加工する場所、原寸場にて木材を加工するための実物大の設計図を描きます。

今年9月末の完成にむけて大型クレーンが動き、復元にむけて着実に工事が進んでいる様子を見ることができます。鉄骨の柱が立ち上がり梁等も架けられ屋根や外壁も付くと、大きな建物が出来上がります。建物には原寸場での作業状況等を見る能够ができるように大きな窓等も整備しますので、是非、着々と進む首里城復興の今をご覧ください。

首里城公園 沖縄復帰50周年記念展 受け継がれる琉球の染織

琉球王国の時代より育まれてきた染織技術は、琉球王国の崩壊、沖縄戦の戦禍などの時代の荒波を越えて人々の手によって現在まで大切に受け継がれて来ました。その中から首里織、琉球びんがた、喜如嘉芭蕉布、久米島紬、宮古上布の代表的な作品を紹介します。



しゅりおり
首里織

美しい黄緑色が印象的な『首里花倉織衣裳』(那覇伝統織物事業協同組合製作)は、経糸と緯糸の微妙なテンションで格子模様の細かさと光沢の差を成した作品です。首里花倉織の高度な技法は、卓越した技術を持つ継承者によって伝えられてきました。



くめじまつむぎ
久米島紬

泥染め独特な深みある地色にくずれ格子や十字絣、鳥、三日月などの柄が映えた久米島紬の作品『クジリゴーシ十字絣トリ2玉』(幸地綾子製作)と『十字絣ミカヅキ4玉』(宇江城ヤス子製作)は、糸染めから織りまで一人の職人の手でなされています。



琉球びんがた(紅型)

『松皮菱菊藤菊流水菖蒲文様紅型衣裳』(琉球びんがた事業協同組合製作)は、淡い藤色を背景に濃い紫や赤の松皮菱、菊、藤、菖蒲の花などの模様を配し、藍色の菖蒲の葉、流水の模様で全体を引き締めた紅型染めの作品です。



きじょかばしょうふ
喜如嘉芭蕉布

芭蕉布着物『ヒキガキー花合(ハナアーシ)』(芭蕉布織物工房製作)は、糸芭蕉から採った纖維の独特なしなやかさ、落ち着きある黄色の中に琉球藍とテカチ(シャリンバイ)で染めた糸で織り成した絣が際立つ作品です。

みやこじょうふ
宮古上布

『麻の葉』(島袋朝子製作)は、苧麻の持つ風合いと宮古上布の高度で緻密な絣の技術を活かして織り成された麻の葉模様が涼やかな印象を与える作品です。

本展示会にあたり、那覇伝統織物事業協同組合、琉球びんがた事業協同組合、喜如嘉芭蕉布事業協同組合、久米島紬事業協同組合、宮古織物事業協同組合より貴重な染織品をお借りすることができ、多くのお客様の目を楽しませました。また、沖縄県立芸術大学より展示のご協力をいただきました。

首里城公園 沖縄復帰50周年記念展
受け継がれる琉球の染織
会期:令和4年5月15日(日)~22日(日)
開場:世誇殿 主催:国営沖縄記念公園(首里城)

首里城公園 令和4年度イベント(予定)

夏の御城まつり～首里手作り市～

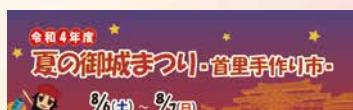
8/6(土)・7(日)の2日間 ▶ ※9月に開催延期

10:00~20:30(こども御開門式は8:55~9:10)

こども御開門式、はちみつ採取体験、杜のステージ、

怪談読み聞かせ、桑江さんぽ、ナイトツアーや

漆(沈金)体験教室、チョウ検定、ゲームコーナー(予定)



首里城復興祭

10/29(土)~11/3(木)

首里城復興を祈念したイベントが盛況!

出御、伝統芸能公演、
復興祈念ステージなど(予定)



首里城が好きな方なら、どなたでもご入会できます!



首里城公園友の会 会員募集中!

首里城公園友の会は、首里城公園の質的充実と愛護、育成の諸事業を実施し、

会員相互の親睦を図ることを目的として設立されました。

会の趣旨に賛同する会員(個人／法人)を募集しています。見学会などの事業や会員特典も充実です!



主な事業

- 首里城公園を支援する事業
- 首里城公園に関する鑑賞会、講演会、研究会の開催
- 史跡巡見(本島内や離島等のバスツアー)、首里城周辺巡り、首里城見学会等の開催
- イヌマキ育樹祭
- 会員相互の親睦
- 首里城公園友の会 会報の発行
- その他、会の目的を達成するための事業



入会方法

入会ご希望の際は、下記事務局までお問い合わせ下さい。
申込用紙をお送りいたします。

TEL:098-886-2020(首里城管理センター)

年会費

個人会員 2,000円 法人会員 10,000円

会員特典

- 首里城公園への優待入場(無料入場券2枚・会員証提示にて団体割引)
- 友の会主催の講演会・見学会・史跡巡見等への参加
- 友の会「会報」等の配布
- 首里城公園友の会発行図書の割引
- 首里城公園オリジナル商品が会員証提示で10%OFF

下記QRをクリックすると読み込み先ページにリンクします!

首里城
公園HP

